SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州産交バス株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・自社の経営方針及び経営スローガンをオフィス内に掲示し、社内で常に意識を醸成するとともに外部に向けて発信している。 ・社内イントラやグループウェアでは経営方針、経営スローガン、企業理念、企業ビジョン及び事業計画等を公表しており、全社員一丸となって経営目標に挑戦する文化が形成されている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・「コンプライアンス管理規程」及び「リスク管理規程」等を策定し、九州産交ホールディング内に設置されているリスクコンプライアンス委員会と連携し、コンプライアンス強化に取り組んでいる。 ・安全・保安の確保には様々な法令の遵守が必要であるため、教育プログラム等にて啓発を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先と「秘密保持に関する誓約書」を締結、相見積もりの徹底を行い、不正競争防止に取り組んでいる。 ・社員のソーシャルメディア利用について、「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を策定し、事業運営上の秘密等を漏洩しないよう管理している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・SDGsの取り組みはホールディングス経営企画グループが主管部門であり自社の管理部と連携を図り、事業活動が社会や環境に及ぼす影響を把握している。 ・事業運営の管理として、ホールディングスの各部署と自社の管理部とで常時連携している。 ・ホールディングスにグループ会社全体をモニタリングする「監査室」が設置されており、グループ全社の法令遵守や内部統制について監査を推進している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ロゴや社名の商標権を取得している。 ・取引先と「秘密保持に関する誓約書」を締結し、知的財産の保護に取り組んでいる。 ・ホールディングス総務・法務グループ主催による、コンプライアンスWEB研修「知的財産権・表示規則等」を全従業員が受講している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「特定個人情報取扱規程」及び「個人情報管理規程」などを策定し、個人情報の適切な取り扱いを遵守している。 ・全社員を対象として、定期的に情報セキュリティ研修を実施している。 ・各種申請書等の保管やデータ管理を徹底し、定期的な自主点検を行っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・グループホームページに「お客様ご意見箱」を設置し、お客様のご要望・ご意見を常時受け付け、取り入れるよう取り組んでいる。 ・消費者へのサービス向上のため、学生向けのバス利用アンケートを実施している。 ・自治体や行政機関などと意見交換をしながら、交通対策等を検証・実施している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・継続的なサプライヤーや事業パートナーとは契約を締結して倫理的な行動をもって互いに事業に資することを共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・グループ会社全体で事業継続計画（BCP）を策定し、熊本県等の自治体や警察消防、医療機関等と連携して災害や事故等に備えている。 ・上記計画等に基づき、適宜訓練を行うとともに毎年見直しを実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「ハラスメント防止に関する規程」を策定し、また研修会を実施する等、各種ハラスメントの防止に取り組んでいる。 ・各種ハラスメントの相談窓口を設置している。 ・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生等、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・外国人や障がい者雇用を進めている。 ・認知症サポーター養成講座を実施し、職員に認知症サポーター取得を推奨している。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「就業規則」及び「安全衛生管理規程」を策定し、労働災害の防止及び安全衛生の確保について定めている。 ・「安全衛生委員会」を設置している。 ・「心の健康づくり活動方針」及び「ストレスチェック制度実施基準」を策定し、全社員の心身の健康管理を推進している。 ・自社の衛生管理者、安全管理者をはじめとして安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 ・各事業所にて毎日「5S活動」を実施し、労働衛生を推進している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿って、雇用形態の異なる従業員の待遇について、公正に対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ホールディング又内に「ワークライフバラン支援センター」を設置し、グループ従業員の働き方改革を推進している。 ・「ノー残業デー」の設定、残業管理啓発など、残業時間の管理を徹底し、安全衛生委員会にて産業医を交え定期的に残業時間を共有し、長時間労働防止に取り組んでいる。 ・「育児・介護休業規程」や「再就労支援制度規則」等を策定し、ワークライフバランスを推進している。 ・時差出勤制度を設定し、働き方改革を推進している。 ・「子育て支援優良企業」認定を受けており、未就学児の子育てしている従業員のために「子育てトーク」を開催し、家庭と仕事の両立を推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「資格取得推進制度」の策定及び「通信教育」推進活動を行い、資格取得費用の支給や資格手当等、各種資格の取得を奨励している。 ・人事グループ主催によるキャリアや等級にあわせた集合型研修を実施しており、社員は必要に応じてセミナーや講演会等に参加している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年の「生活習慣病予防検診」の全従業員受診、インフルエンザ予防接種の経費補助などを行っている。 ・毎月「安全衛生委員会」を開催し、全従業員の健康増進を推進している。 ・ホールディングス人事グループ発信によるメンタルヘルスニュースを毎月受信し、心の健康啓発を行っている。 ・就業中の全面禁煙化（運転士職を除く）を推進している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・他法人を退職した高齢者の採用や、退職後の再雇用制度設定、女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、高齢者や女性の活躍を推進している。 ・「子育て支援優良企業」認定を受けており、退職者の「再就労支援制度」を設定するなど、人材活躍環境を整備している。 以上により、業務運営や昇進・昇格等に、国籍、人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。 ・熊本県男女共同参画推進事業者として表彰されている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・「在宅勤務」を適宜推奨し、新しい働き方に対する労働管理体制を整備している。 ・オフィス内のどこでもWEB会議等を接続できる環境を整備し、各種ITツールを整備している。 ・PC等、テレワークに必要な各種ITツールを社員に配布してテレワークを推進している。 ・時差出勤制度を設定し、働き方改革を推進している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・RPAを推進し、DXの推進に取り組んでいる。 ・全乗務員職に、タブレットを配付し、各種業務のDX化を推進することによる業務の効率化に取り組んでいる。 ・他社様と連携し、デジタルバスチケットを販売している								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：九州産交バス株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・専門業者へ委託し一般ごみと産廃ごみに分別し、適切にごみ処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎年電力や各種エネルギーの使用量の実績を集約し、自社でエネルギー使用量と排出量を算出し削減に取組んでいる。 ・会社全体の節電について、離席時のパソコンモニターや個別電灯の消灯、使用しない休憩室や廊下等の消灯を徹底している。 また、本社部門では毎週水曜日をノー残業とし18：30に一斉消灯を実施している。 ・バスの軽油について、エンジンカットや無駄なアイドリングストップ、回送運行の減少などにより使用量削減に取り組んでいる。 2022年　t-CO2排出量　6,270 2025年　t-CO2排出量　5,914（2022年比5%削減）							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎月電力や各種燃料の使用量の実績を集約し、自社で温室効果ガス排出量の算出を行っている。 ・バスの軽油について、エンジンカットなどにより、排出量削減に取り組んでいる。 ・デジタルタコグラフを活用しエコドライブを推進している。 ・アイドリング＆スタートシステムを導入し、温室効果ガスの排出抑制を推進している。 ・クールビズ（5月～10月）を推進している。 ・エアコンの設定温度の適正管理を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・節水トイレを導入し、水資源の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・中古ファイルはできるだけリユースしている。 ・ICTツールを導入し、業務や会議のペーパーレス化に取り組んでいる。 ・社員がマイボトルやマイバッグを使用している。 ・中古封筒の再利用にてごみの削減を推進している。 ・社内でのゴミの分別化徹底により、資源の効率活用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水道使用量の月次確認による使用量の削減や節水トイレを導入し、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・製品カタログやホームページを活用し、グリーン購入に取り組んでいる。 ・廃車になったバス車両の座席シートを回収し、アップサイクル商品の製造・販売を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・各事業所に植栽や緑地帯を設け、それらの保全管理を行っている。 ・各事業所では、年間を通して四季の草花のプランターを設置している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・浄化槽を設置している事業所では汚水を浄化処理し、海洋汚染の防止に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・桜町バスターミナルにバス時刻表のデジタルサイネージを設置したり、バス乗り場案内を大きく表示したりして、バスの利用促進を行っている。 ・バスの利用促進策として、バス利用促進CMなどの利用促進を行っている。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州産交バス株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・バスグループにおいて、安全・サービスへの取組みとして、安全基本方針及び安全目標、CS向上目標について公表している。 ・各事業所・施設の安全や保安の確保のための各種規程を策定し、着実な安全・保安業務を実施するとともに、警備会社や警察等と連携し訓練を行っている。 ・運輸安全マネジメントの実施や社内モニター制度にて、安全性・保安性を向上している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・桜町バスターミナル内やトイレ等、ユニバーサルデザインを取り入れるよう努めている。 ・低床バスを積極導入をするなどユニバーサルデザインの導入を進めている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・持続可能な公共交通の維持のため、客貨混載を実施している。 ＜くまモンビレッジ＞ 持続可能な公共交通の維持を目的に、KASSEJAPANが運営している「くまモンビレッジ」で熊本県産の地域産品を販売するにあたり、地域産品を路線バスを使用して運搬。 ＜手ぶら観光サービス＞ （実証実験　2023.3.23～2024.3.31） 阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルビル開業に伴い、路線バスを活用した客貨混載とヤマト運輸の物流ネットワークを組み合わせた「手ぶら観光サービス」の実証実験を開始。これにより、熊本県を訪れる国内外の観光客の皆さまの、より便利で快適な観光の実現を目指す。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県内の非営利慈善団体へ寄付を行っている。 ・熊本中心市街地、阿蘇地域及び各事業所周辺地域の清掃活動を行っている。 ・熊本県や周辺自治体と連携し、防災計画の検討から防災活動に取り組んでいる。 ・交通事業者共同でサクラマチクマモト周辺の清掃活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災、減災計画を策定し訓練を行っている。 ・上記計画の策定や各種訓練の想定には各事業所としての自然災害の記録も踏まえて活用している。 ・各事業所では自衛消防隊を組成し、定期訓練を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・インターンシップの受入れを行っている。（本年度は熊本国府高校で1名） ・熊本県内の各種学校にて社員によるバス乗り方教室を開催している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県内の新卒採用及び、Uターン、Iターン含む中途採用を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。